

基本政策 11

スポーツで元気になる

子どもから高齢者、障がいのある人など、**誰もが**生き生きとした日常生活を送るために、体力や技術、興味、目的に応じたスポーツを通じ、元気になることができる“まち”を目指します。

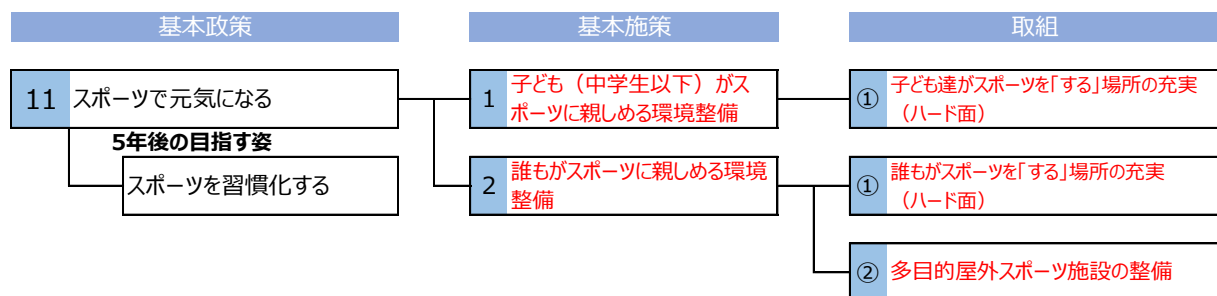
5年後の目指す姿

「スポーツを習慣化する」

多くの市民が心身ともに元気に暮らせるよう、スポーツを身近に親しめる環境の整備を通じて、スポーツの習慣化を支援します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
週 1 回以上スポーツをする人の割合 (市民意識調査)	34.2% (R6)	43.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

11-1 子ども（中学生以下）がスポーツに親しめる環境整備

幼児などが、「遊び」も含め様々な形で体を動かしたり、小・中学生がスポーツの魅力や楽しさ・大切さを知り、スポーツに親しんだりすることができる環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	運動が好き・やや好きな割合 (全国体力・運動能力・運動習慣等調査)	84.0% (R6)	86.0% (R12)

【主な取組】 子ども達がスポーツを「する」場所の充実（ハード面）

施設・情報提供等を充実し、好きな時に好きなスポーツを、気軽に楽しめる環境整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市民総合体育館・運動公園の子ども登録 団体数	231 団体/年 (R6)	⇒ 240 団体/年 (R12)

11-2 誰もがスポーツに親しめる環境整備

年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の中で気軽にスポーツ活動に取り組める環境を整備します。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツ施設利用者数	343,468 人 (R5)	358,000 人 (R12)

【主な取組】 誰もがスポーツを「する」場所の充実（ハード面）

施設・情報提供等を充実し、好きな時に好きなスポーツを、気軽に楽しめる環境整備に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
市民総合体育館・運動公園登録団体数	504 団体/年 (R6)	⇒ 510 団体/年 (R12)

関連する SDG s ゴール



市民が、平等かつ公正に取り組める機会を保障し、市民生活を営む上での基盤づくりとして、スポーツを通じた健康づくりに取り組みます。 **関連ターゲット（4-2、4-3）**

関連計画等

第2期富士見市スポーツ推進計画（令和4年度～令和8年度）

第3次富士見市教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）

第4次富士見市生涯学習推進基本計画（令和8年度～令和12年度）

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課 健康福祉部 健康増進センター

都市整備部 都市計画課 教育部 生涯学習課

基本政策 12

スポーツにより交流が活性化する

地域のあらゆるスポーツ活動を通して、市民の交流が活性化していく“まち”を目指します。

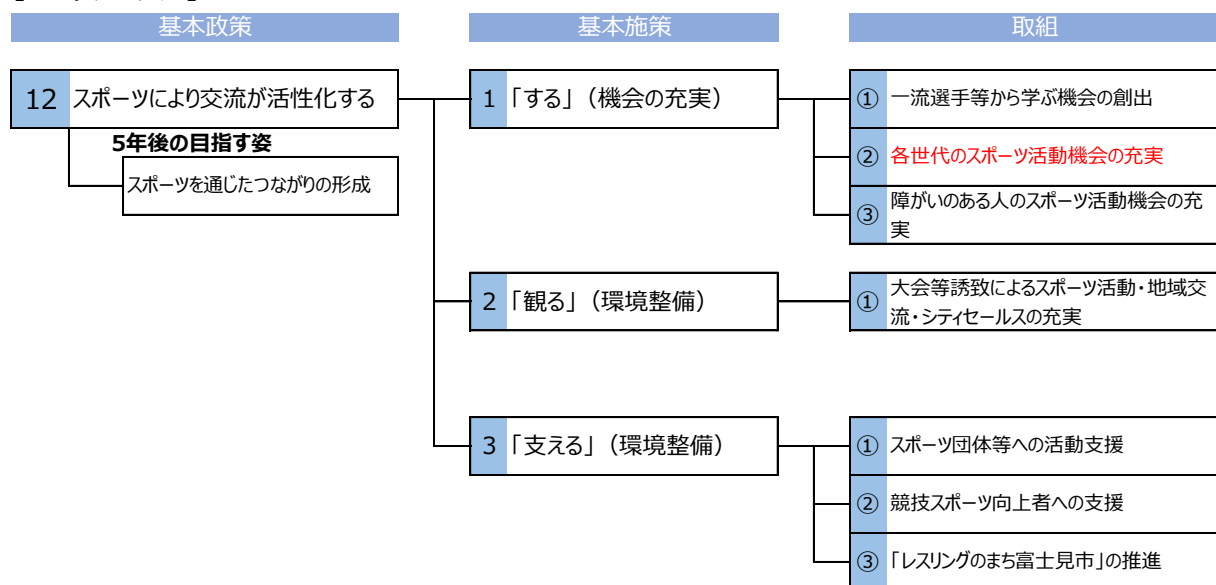
5年後の目指す姿

「スポーツを通じたつながりの形成」

多くの市民が、「する」、「観る」、「支える」など様々なかたちでスポーツにかかわることで、人々との交流が深まることを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
スポーツ活動への参加率 (市民意識調査)	30.9% (R6)	40.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

12-1 「する」(機会の充実)

市民が様々なスポーツ活動に参加し、交流を深めることができるよう、「する」機会の充実を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツ大会・スポーツイベントへの参加率 (アンケートモニター調査)	24.3% (R7)	26.7% (R12)

【主な取組】 一流選手等から学ぶ機会の創出

スポーツの魅力を伝え、心身の成長につなげることを目指し、楽しめる体験事業など、スポーツ機会の充実に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
一流選手等から学ぶ体験教室の開催数	14 回/年 (R6)	⇒ 15 回/年 (R12)

12-2 「観る」(環境整備)

トップリーグによるスポーツ大会の観戦などを通じて、市民の交流の深まりや、シティセールスの充実に図ることを目指して、「観る」環境整備を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツを会場等で観戦したことがある市民の割合 (アンケートモニター調査)	33.9% (R6)	41.0% (R12)

【主な取組】 大会等誘致によるスポーツ活動・地域交流・シティセールスの充実

レスリング、ハンドボール、セパタクローなどの全国規模の大会の誘致を通し、スポーツの魅力を伝えるとともに、スポーツ活動、地域交流、シティセールスの充実に図ります。

【KSF】	現状値	目標値
大会誘致競技数	5 競技/年 (R6)	⇒ 6 競技/年 (R12)

12-3 「支える」(環境整備)

地域スポーツ団体等への活動支援、富士見 TOP サポーター2020+の派遣などを通じて、交流を深めることができるよう、「支える」環境整備を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	スポーツに関するボランティア活動の参加率 (アンケートモニター調査)	17.4% (R6)	23.0% (R12)

【主な取組】 スポーツ団体等への活動支援 スポーツ団体による普及活動や大会、イベントなど、市民による地域スポーツ活動を支援します。		
【KSF】	現状値	目標値
イベント、大会等に派遣された富士見 TOP サポーターの人数	延べ 32 人/年 (R6)	⇒ 延べ 40 人/年 (R12)

関連する SDG s ゴール



市民が、平等かつ公正に取り組める機会を保障し、市民生活を営む上の基盤づくりとして、スポーツを通じたつながりの醸成に取り組みます。 **関連ターゲット (4-2、4-3)**



経験や知識、技術を共有しながら多様なスポーツ機会を提供し、様々なパートナーシップを推進するとともに、スポーツを通じたつながりの形成に取り組みます。

関連ターゲット (17-17)

関連計画等

第2期富士見市スポーツ推進計画 (令和4年度～令和8年度)

第3次富士見市教育振興基本計画 (令和5年度～令和9年度)

第4次富士見市生涯学習推進基本計画 (令和8年度～令和12年度)

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課

健康福祉部 健康増進センター

都市整備部 都市計画課

教育部 生涯学習課、学校教育課

基本政策 17

市民が主役のまちづくり

市民と市がそれぞれの役割と責任を担いながら、まちづくりのパートナーとして、市民の知恵と力を生かした「市民が主役のまちづくり」を目指します。

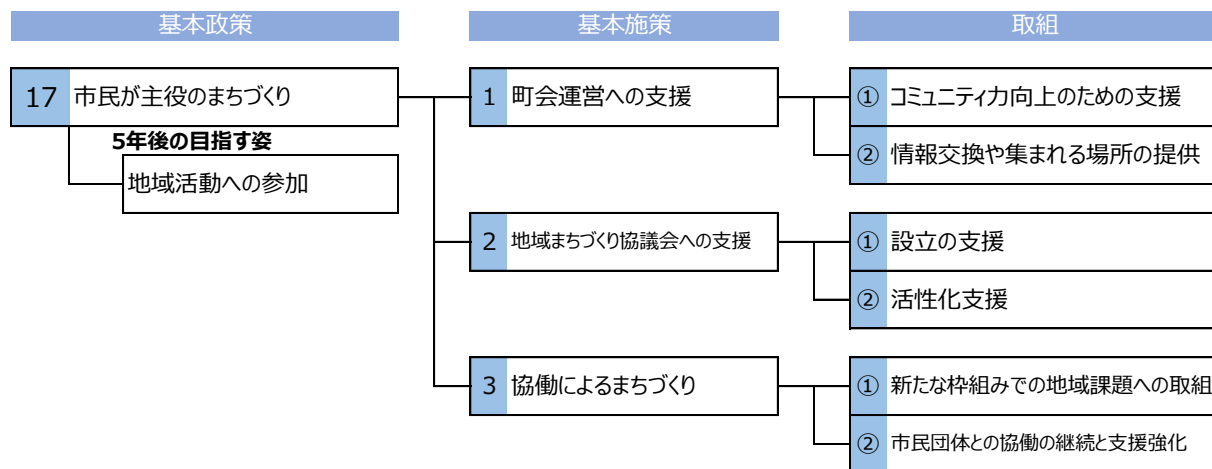
5年後の目指す姿

「地域活動への参加」

市民が地域でつながり、知恵や力を出し合える環境を醸成するため、地域活動に参加する人を増やすことを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
地域活動に参加している人の割合 (市民意識調査)	52.6% (R6)	61.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

17-1 町会運営への支援

地域力の向上のため、一番身近なコミュニティである町会運営を支援し、町会の活性化を図ることを目指します。

KPI	指標	現状値	目標値
	コミュニティ活動の推進に対する満足度 (市民意識調査)	54.7% (R6)	60.0% (R12)

【主な取組】 コミュニティ力向上のための支援

町会の加入促進の支援や町会のDX化推進、負担軽減策の検討など、コミュニティ力向上のための支援に取り組めます。

【KSF】	現状値	目標値
加入促進策の実施数	3 施策/年 (R6)	⇒ 5 施策/年 (R12)

17-2 地域まちづくり協議会¹への支援

町会や地区社会福祉協議会など単体では解決が難しい地域の課題解決に向けて、地域の様々な団体等の力が発揮できるよう、地域まちづくり協議会の設立や既存協議会の支援を行います。

KPI	指標	現状値	目標値
	地域まちづくり協議会の設置数	8 団体 (R6)	11 団体 (R12)

【主な取組】 設立の支援

地域まちづくり協議会を設立していない地域に対し、意見交換会の開催や既存の協議会における成功事例の紹介など、設立に向け支援します。

【KSF】	現状値	目標値
既存の地域まちづくり協議会の活動発表会の開催	0 回/年 (R6)	⇒ 1 回/年 (R12)

¹ 概ね小学校区を単位とし、町会を中心に地域の各種団体や市民、事業者等が連携して、各種団体だけでは解決できない地域の問題や課題について住民主体で話し合い、解決に向けて地域が一体となって取り組む組織

17-3 協働によるまちづくり

協働事業提案制度の活用や協働を継続している団体との連携強化など、市と市民団体等と協働によるまちづくりを推進していきます。

	指標	現状値	目標値
KPI	市民参加・協働の推進に対する満足度 (市民意識調査)	46.9% (R6)	56.0% (R12)

【主な取組】 市民団体との協働の継続と支援強化

彩の国市民活動サポートセンターとの連携により市民団体同士の繋がりを強化し、公民館利用団体への働きかけなどを通して市民団体との協働の新たな創出や継続に取り組むとともに、資材や活動場所の提供、財政的な相談など、協働する市民団体への支援を強化します。

【KSF】	現状値	目標値
市民団体との協働事業の実施数	115 回/年(R6) ⇒	136 回/年(R12)

関連する SDG s ゴール



誰もが利用できる集会所について維持管理及び支援を行い、地域コミュニティの活性化を図ります。 **関連ターゲット (11-7)**



町会や地域まちづくり協議会など様々なパートナーシップを推進し、市民の知恵や力を活かしたまちづくりを推進します。 **関連ターゲット (17-17)**

関連計画等

関連部署

協働推進部 協働推進課

基本政策 18

外国籍市民と地域住民がつながりを持つことができる

外国籍市民が国籍や文化の違いにかかわらず、地域社会の中で生き生きと暮らすことができ、地域住民が多文化への理解を深めることで、互いにつながりを持てる“まち”を目指します。

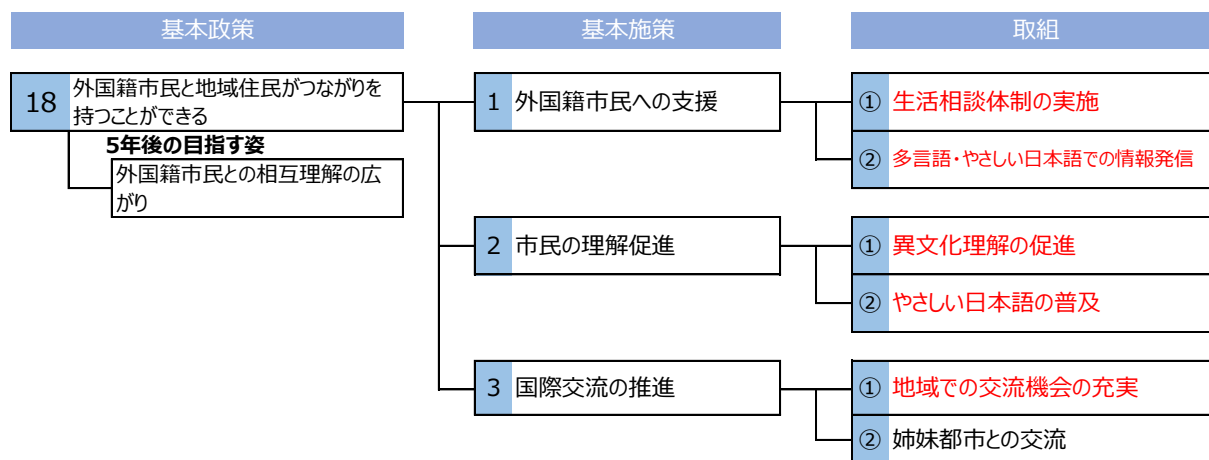
5年後の目指す姿

「外国籍市民との相互理解の広がり」

外国籍市民と地域住民の相互理解が広がることにより、国籍や文化を超えたつながりが深まることを目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
相互理解が広がっていると感じる市民の割合 (市民意識調査)	—	55.0% (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

18-1 外国籍市民への支援

生活に関する不安の解消を目指し、地域社会とコミュニケーションを取りながら暮らすことができるよう、外国籍市民への支援を充実します。

	指標	現状値	目標値
KPI	暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合 (事業参加者へのアンケート)	100% (R6)	100% (R12)

【主な取組】 多言語・やさしい日本語での情報発信

市民生活を送るうえで必要な情報を入手できるよう、多言語・やさしい日本語による情報発信を行います。

【KSF】	現状値	目標値
多言語・やさしい日本語による案内等の数	56 件/年 (R6) ⇒	62 件/年 (R12)

18-2 市民の理解促進

外国籍市民とコミュニケーションを取りながら暮らすことができるよう、市民相互の理解促進を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	外国籍の人への理解が深まったと感じた割合 (アンケートモニター調査)	19.6% (R7)	24.6% (R12)

【主な取組】 異文化理解の促進

市民の異文化理解を深めるため、ホームページやイベント等を充実させます。

【KSF】	現状値	目標値
広報掲載や事業実施による情報提供回数	7 回/年 (R7) ⇒	8 回/年 (R12)

18-3 国際交流の推進

多様な文化に触れることで、多文化理解の促進を目指した国際交流を推進します。

	指標	現状値	目標値
KPI	国際交流フォーラムの参加人数	374 人 (R6)	430 人 (R12)

【主な取組】 姉妹都市との交流

セルビア共和国シャバツ市との姉妹都市提携を活かし、姉妹都市の周知強化や姉妹都市関連団体との連携を通して更なる交流を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
姉妹都市関連事業の実施・連携数	6 回/年 (R6) ⇒	維持 (R12)

関連する SDG s ゴール



異文化理解の取組を通して必要な知識を習得することで、グローバルな質の高い学びに繋げることを目指します。 関連ターゲット（4-7）



互いの理解を深め、国籍等に関わりなく地域で安心して暮らせるよう取り組みます。
関連ターゲット（10-2、10-3）



誰もが住みやすいまちになるように、外国籍市民を支援するとともに、相互理解を深めます。 関連ターゲット（11-1）

関連計画等

関連部署

協働推進部 文化・スポーツ振興課、**人権・市民相談課**

分野 14 防犯・交通安全

暮らし

つながり

生活環境

成長

基本政策 19

犯罪が起きないまちで生活ができる

市民、地域、行政が、高い防犯意識のもと一体となって防犯活動を実施し、犯罪を未然に防ぐことで、犯罪の起きない安全な“まち”を目指します。

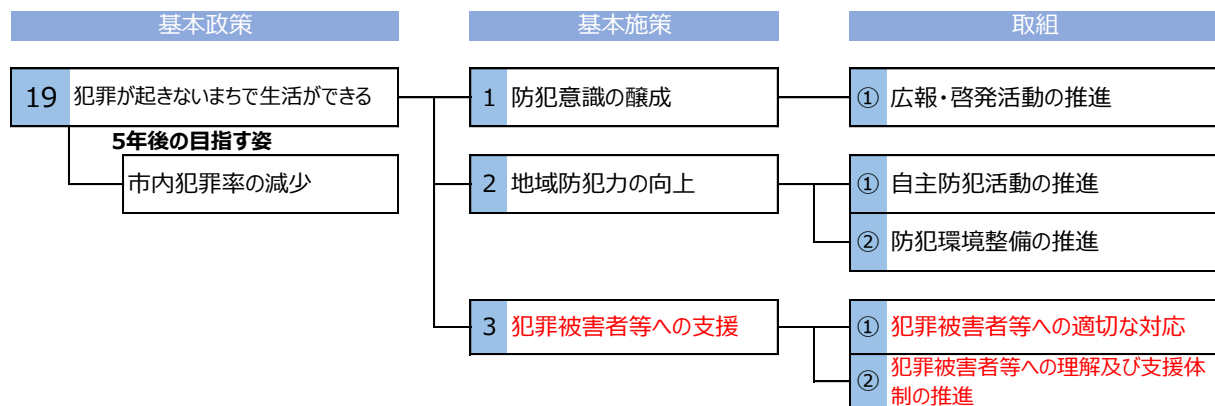
5年後の目指す姿

「市内犯罪率の減少」

市民一人ひとりが、日ごろから犯罪を防ぐための対策を行い、地域による防犯パトロールをはじめとした自主防犯活動に加え、街頭防犯カメラなどの防犯環境の整備を推進することで、市内における犯罪率の減少を図ります。また、犯罪に遭われた方や家族等への適切な対応や支援を推進します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
市内犯罪率 (人口千人あたりの刑法犯認知件数)	7.7 件/年 (R5)	6.3 件/年 (R12)

【ロジックモデル】



基本施策

19-1 防犯意識の醸成

市民一人ひとりが適切な防犯対策を実施できるよう、情報発信等を通じて防犯意識の醸成を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	日頃から防犯を心掛け、対策している市民の割合 (アンケートモニター調査)	62.9% (R6)	75.0% (R12)

【主な取組】 広報・啓発活動の推進

近年頻発する特殊詐欺などを含め、市民の防犯意識を向上し、犯罪を未然に防止する取組を広めるため、出前講座や啓発キャンペーンに加え、広報富士見、市ホームページ等を通じて広報・啓発活動を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
情報発信回数	16 回/年 (R6) ⇒	20 回/年 (R12)

19-2 地域防犯力の向上

地域による防犯パトロールをはじめとした自主防犯活動や行政による防犯環境の整備を推進するとともに、警察等と連携し、地域防犯力の向上を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	市内街頭犯罪発生件数	270 件/年 (R5)	218 件/年 (R12)

【主な取組】 自主防犯活動の推進

自主防犯活動を実施する団体に対して、防犯パトロール用品の配布やボランティア保険の加入などの支援を行い、団体が活動しやすい環境づくりを行うなど、自主防犯活動を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
自主防犯組織の結成率	100% (R6) ⇒	維持 (R12)

19-3 犯罪被害者等への支援

犯罪に遭われた方や家族等が受けた被害を回復・軽減し、再び平穏な生活を送ることができるよう、総合的に支援します。

	指標	現状値	目標値
KPI	犯罪被害者支援総合的対応窓口の認知度 (アンケートモニター調査)	21.0% (R7)	40.0% (R12)

【主な取組】犯罪被害者等への理解及び支援体制の推進

市ホームページ等を活用した情報発信を行うとともに、犯罪被害者等支援に係る職員の意識啓発の促進を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
市ホームページ等を活用した情報発信回数	0 回 (R6)	⇒ 3 回 (R12)

関連する SDG s ゴール



地域の防犯力を高めるとともに、犯罪被害者等への総合的な支援を行うことで、安心して生活できる環境づくりに取り組みます。

関連ターゲット (16-1、16-2、16-3、16-10)



自主防犯組織や防犯パトロールなど地域の力を活用しながら、防犯体制の強化を行い、市民一丸となって犯罪の抑制に取り組みます。 関連ターゲット (17-17)

関連計画等

富士見市安全安心なまちづくり防犯推進計画 (平成 29 年度～令和 8 年度)

関連部署

協働推進部 協働推進課

基本政策 22

すべての世代が快適で暮らしやすいまちになる

良好な都市機能や都市環境の形成を進め、活力と魅力があり、都市と自然の調和を保ちながら、すべての世代が快適で暮らしやすい“まち”となることを目指します。

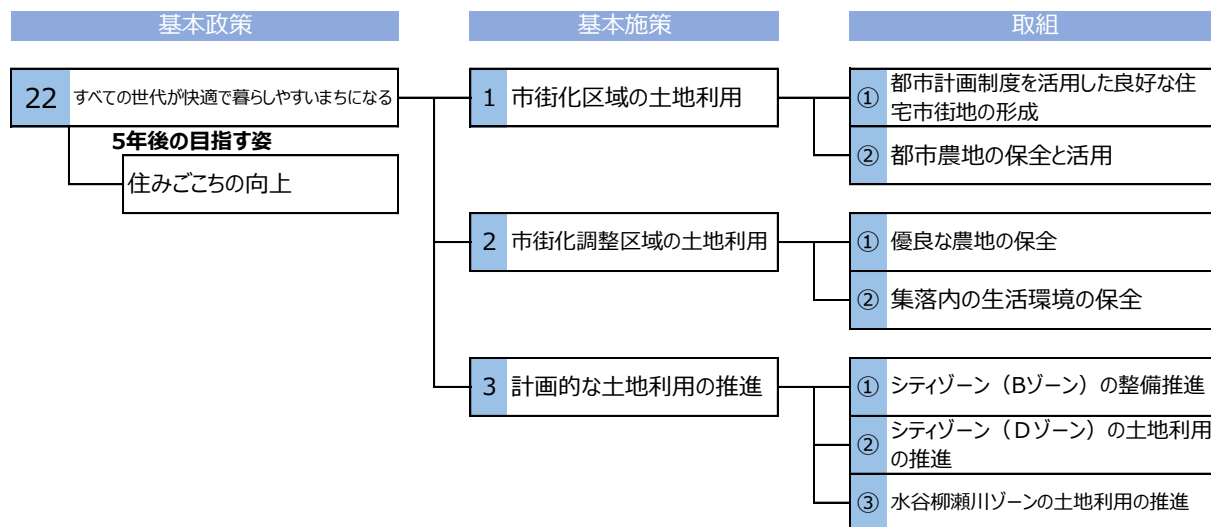
5年後の目指す姿

「住みよこちの向上」

計画的に都市機能や都市環境を形成し、生活利便施設や医療・福祉施設、子育て支援施設等がある、暮らしやすいまちや住みよこちの向上を目指します。

数値目標	現 状 値	目 標 値
現在の住みよこち（「住みよい」の割合） （市民意識調査）	77.8%(R6)	83.1%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

22-1 市街化区域の土地利用

市街化区域においては、人口減少、超高齢社会に対応したコンパクトなまちづくりを推進するため計画的に居住や都市機能の誘導を行い、持続可能な都市構造の形成を図ります。

KPI	指標	現状値	目標値
	住居系市街化区域面積	806.6ha(R6)	維持(R12)

【主な取組】 都市計画制度を活用した良好な住宅市街地の形成

福祉施設、子育て支援施設等を誘導するとともに、日常生活を支える商業、サービス機能を維持します。また、都市計画制度に関する周知・啓発に取り組み、市民参加による良好な住宅市街地の形成を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
都市計画制度に関する周知・啓発	— ⇒	実施 (R12)

22-2 市街化調整区域の土地利用

自然豊かな風景や優良な農地を保全しながら、暮らしやすさや生活環境を維持することを目的に、市街化調整区域内の土地利用を図ります。

KPI	指標	現状値	目標値
	市街化調整区域面積	1128.0ha(R6)	維持(R12) (土地利用転換区域を除く)

【主な取組】 優良な農地の保全

周辺環境と調和した集落内の生活環境を維持し、田園地に広がる生産基盤として優良な農地を保全します。

【KSF】	現状値	目標値
農用地区域面積	356.09ha(R6) ⇒	353.69ha(R12) (土地利用転換に係る 減少値を除く)

22-3 計画的な土地利用の推進

ヒト、モノ、コトが多く集まる拠点的形成するため、計画的な土地利用の転換を推進します。

KPI	指標	現状値	目標値
	複合的な市街地の形成	0 地区 (R6)	1 地区 (R12)

【主な取組】 水谷柳瀬川ゾーン¹の整備推進

水谷柳瀬川ゾーンの整備を推進し、就業や人が集まる場を確保します。

【KSF】	現状値	目標値
土地利用に向けた各種調整	— ⇒	実施 (R12)

関連する SDG s ゴール



自然環境を維持しながら、生産活動や雇用の創出をするための計画的な市街地の整備を図り、持続可能なまちづくりの推進を進めます。 関連ターゲット (8-3)



災害に強く、安全で潤いのある住環境整備や産業系等への土地利用の転換を推進し、包摂的かつ持続可能なまちづくりの推進します。 関連ターゲット (11-3)

関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン (令和 3 年度～令和 22 年度)

富士見・ふじみ野農業振興地域整備計画(富士見市分)(令和 4 年度～)

関連部署

産業経済部 産業経済課、農業振興課

都市整備部 都市計画課、まちづくり推進課

建設部 道路治水課、建築指導課、下水道課、水道課

¹ 本市の南東部に位置し、国道 254・463 号及び柳瀬川沿いの区域一帯。

基本政策 23

円滑な移動と安全性が確保される

道路環境の安全安心の確保や利便性の向上により、市民の円滑な移動と安全性が確保されている“まち”を目指します。

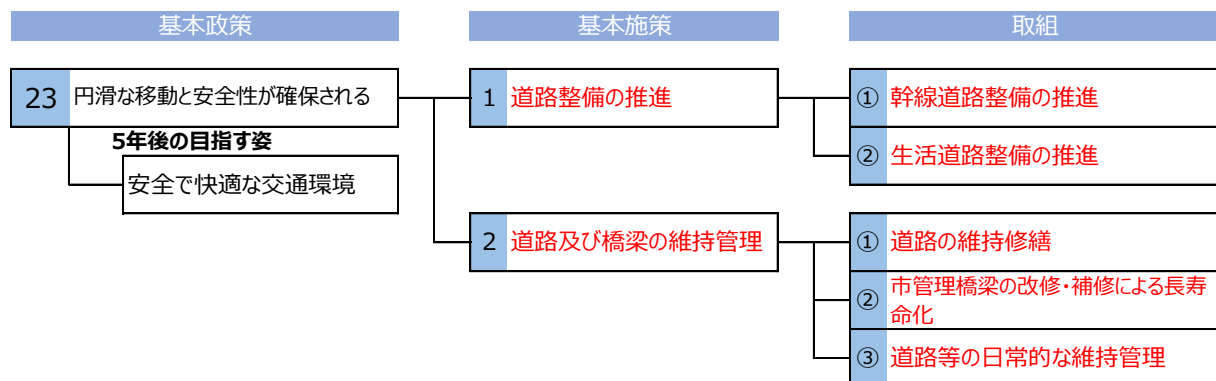
5年後の目指す姿

「安全で快適な交通環境」

移動の円滑化のための幹線道路の整備・補修や、通学・買い物などの日常の安全な移動の確保に向けた生活道路の整備・補修など、役割に応じた整備・補修を進め、市民が安心して移動できる交通環境の充実に努めます。

数値目標	現 状 値	目 標 値
道路整備の満足度 (市民意識調査)	54.2%(R6)	58.0%(R12)

【ロジックモデル】



基本施策

23-1 道路整備の推進

市内外へのアクセスを強化し、日常生活や災害時における移動の円滑化を図るため、幹線道路と生活道路の整備を計画的に進めます。

	指標	現状値	目標値
KPI	幹線道路整備事業進捗率	55.5%(R6)	68.3%(R12)

【主な取組】 幹線道路網整備の推進

広域的な道路網とのアクセス強化に向けた道路用地の取得など、計画的に事業を進め、市民の移動の利便性向上を目指します。

【KSF】	現状値	目標値
事業用地取得率 (R7～12 重点推進路線)	82% (R6)	⇒ 100% (R12)

23-2 道路及び橋梁の維持管理

将来にわたって機能の維持が求められる道路や橋梁について、計画的な維持管理を行い、安全な交通環境の確保とともに、道路・橋梁などの長寿命化と費用の平準化を図ります。

	指標	現状値	目標値
KPI	幹線道路等・橋梁修繕工事延長 (R3～R12)	7.6km(R6)	19.5km(R12)

【主な取組】 道路の維持修繕

舗装の個別施設計画に基づき効率的かつ効果的な維持管理を行い、地域道路網の安全性・信頼性の確保に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
舗装修繕延長	9.4km (R3～7)	⇒ 10km 以上 (R8～12)

関連する SDG s ゴール



道路環境の安全安心の確保に向けた環境づくりを進めます。

関連ターゲット (3-6)



誰もが容易に移動しやすい道路環境を維持していきます。

関連ターゲット (9-1)



すべての人のニーズに配慮した道路環境の機能強化を進めるとともに、持続的な成長に向けた道路空間づくりを進めます。 関連ターゲット (11-1、11-2、11-7、11-a)

関連計画等

富士見市都市計画マスタープラン（令和3年度～令和22年度）

富士見市舗装の個別施設計画（令和8年度～令和12年度）

富士見市橋梁長寿命化修繕計画（令和3年度～令和12年度）

関連部署

建設部 道路治水課